

## 地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 19日

（報告先）  
横浜市長

住所 神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1

氏名 学校法人 聖マリアンナ医科大学  
理事長 明石 勝也

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

### 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	学校法人 聖マリアンナ医科大学 理事長 明石 勝也				
事業者の主たる 事業所の所在地	神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1				
主たる事業の業種	大分類	○ 教育、学習支援業			
	中分類	81 学校教育			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	3,082	kl	自動車の台数	台

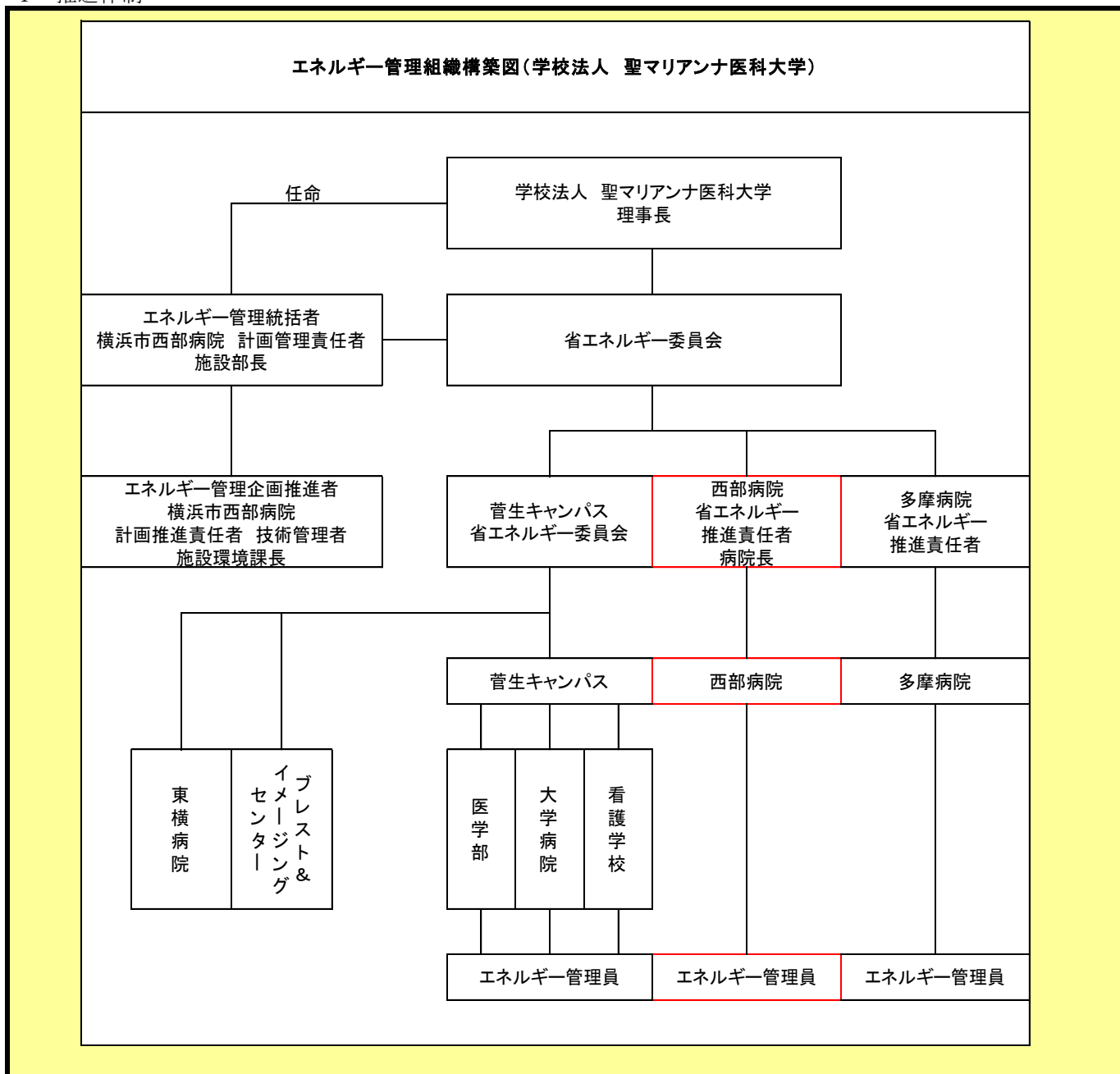
### 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016	年度～	2018	年度	実施年度	2018	年度
------	------	-----	------	----	------	------	----

### 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>法人全体の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化対策に関する取組みを組織的に行い、継続的に対策を推進する。</li> <li>目標を明確に定め、温室効果ガス排出量の削減に取り組む。</li> <li>横浜市内の事業活動に伴う温室効果ガスの排出の抑制等に向けた基本的な方針も同様とする。</li> </ul> <p>【主要なエネルギー使用設備の更新等の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>更新の対象となる主要なエネルギー使用設備：照明設備</li> <li>検討している高効率機器：LED照明、Hf照明</li> </ul> <p>現在は高効率照明の導入は進めているものの、従来型の蛍光灯が多く設置されているため、点灯時間の長い場所を中心に、2018年度を目安に高効率照明を導入する。</p>
---

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	横浜市西部病院内 総務課
	所在地	横浜市旭区矢指町1197-1
	閲覧可能時間	午前9時～午後4時
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	6,806	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	6,806	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 (2018年度)	目標排出量	6,737	t-CO <sub>2</sub>	削減率	1.0 %		削減率	%	
排出の抑制に係る目標の設定の考え方	<p>計画期間中に実施が確定している内容については以下の通り。 ・空調和機のインバータ化 ファン動力7.5kW×3台 期待効果：電力 -20,841kWh 温室効果ガス：-9t-CO<sub>2</sub></p>								
事業者全体としての目標等	<p>良好な医療環境の提供を前提に、設備更新の際には、積極的に高効率設備の導入を推進する。併せて、設備の効率的運用を図るとともに、一層の省エネ啓蒙を実施していく。</p>								
第一年度 (2016年度)	排出量	6,350	t-CO <sub>2</sub>	削減率	6.7 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	6,248	t-CO <sub>2</sub>	削減率	8.2 %		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明	<p>節電、設備運用の改善・省エネルギー活動啓発・設備更新を行うことにより排出量を削減することができた。具体的施策は次の通り。 ①照明の高効率化 ②高効率コージェネの導入 ③空調熱源（蒸気吸収冷凍機・ターボ冷凍機）の更新 ④蒸気ボイラの更新 ⑤空調用搬送ポンプへのインバータ導入</p>								
第二年度 (2017年度)	排出量	6,058	t-CO <sub>2</sub>	削減率	11.0 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	5,885	t-CO <sub>2</sub>	削減率	13.5 %		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明	<p>節電、設備運用の改善・省エネルギー活動啓発・設備更新を行うことにより排出量を削減することができた。具体的施策は次の通り。 ①照明の高効率化 ②熱源設備（CGS・蒸気ジェネリンク・水冷チラー・蒸気ボイラ）の効率的な運用（冷水温度の緩和、冷却水温度の引下げ、不要時の停止等） ③空調機の更新</p>								
第三年度 (2018年度)	排出量	5,914	t-CO <sub>2</sub>	削減率	13.1 %	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /	
	調整後	5,743	t-CO <sub>2</sub>	削減率	15.6 %		削減率	%	
目標等の達成状況及び説明	<p>節電、設備運用の改善・省エネルギー活動啓発・設備更新を行うことにより排出量を削減することができた。具体的施策は次の通り。 ①照明の高効率化 ②熱源設備（CGS・蒸気ジェネリンク・水冷チラー・蒸気ボイラ）の効率的な運用（冷水温度の緩和、冷却水温度の引下げ、不要時の停止等） ③空調機の更新</p>								
計画期間全体の排出状況に関する説明	<p>第一年度から第三年度を通じ、全ての年度において前年度を上回る排出量を達成し、年間平均で699t-CO<sub>2</sub>の排出量を削減、目標削減率69t-CO<sub>2</sub>を大幅にクリアしている。ただし、実施可能な設備更新及び運用改善対策も概ね完了したため、第二年度から第三年度にかけての排出量の削減は144t-CO<sub>2</sub>と僅かであり、今後も大幅な削減は見込めない。今後は、第一年度に大幅に更新した設備の老朽化や気象変動などに対応し、排出量を増加させないよう努める。</p>								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 (年度)	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>			目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /
目標年度 (年度)	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 (年度)	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
3,000k l 以上	1	6,806	1	6,350	1	6,058	1	5,914
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計	1	6,806	1	6,350	1	6,058	1	5,914

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度						
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	1/1	—	年度				1/1	—	年度				1/1	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	1/1	—	年度				1/1	—	年度				1/1	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	1/1	—	年度				1/1	—	年度				1/1	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施済	1/1	—	年度				1/1	—	年度				1/1	—	年度		
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	1/1	—	年度				1/1	—	年度				1/1	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	実施済	1/1	—	年度				1/1	—	年度				1/1	—	年度		
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	1/1	—	年度				1/1	—	年度				1/1	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	1/1	—	年度				1/1	—	年度				1/1	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	1/1	—	年度				1/1	—	年度				1/1	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施済	1/1	—	年度				1/1	—	年度				1/1	—	年度		
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	1/1	—	年度				1/1	—	年度				1/1	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	/	—	年度	地下駐車場の設置なし			/	—	年度	地下駐車場の設置なし			/	—	年度	地下駐車場の設置なし	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/1	—	2018年度	全体の約40%実施済み	実施中	0/1	—	2018年度		全体の約60%実施済み	実施中	0/1	—	2019年度		全体の約60%実施済み
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	1/1	—	年度				1/1	—	年度				1/1	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	実施済		(設備の種類) 冷凍機・ボイラ・CGS 12/12	年度				(設備の種類) 冷凍機・ボイラ・CGS 12/12	年度				(設備の種類) 冷凍機・ボイラ・CGS 12/12	年度				
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済		(設備の種類) 冷凍機 5/5	年度				(設備の種類) 冷凍機 5/5	年度				(設備の種類) 冷凍機 5/5	年度				
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	実施済		(設備の種類) ボイラ・CGS 7/7	年度				(設備の種類) ボイラ・CGS 7/7	年度				(設備の種類) ボイラ・CGS 7/7	年度				
	18	排出ガス温度の管理	設備	実施済		(設備の種類) ボイラ・CGS 7/7	年度				(設備の種類) ボイラ・CGS 7/7	年度				(設備の種類) ボイラ・CGS 7/7	年度				
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	実施済		(設備の種類) 蒸気ヘッダー 5/5	年度				(設備の種類) 蒸気ヘッダー 5/5	年度				(設備の種類) 蒸気ヘッダー 5/5	年度				
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	/	—	年度	工業炉の設置なし			/	—	年度	工業炉の設置なし			/	—	年度	工業炉の設置なし	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	/	—	年度	コンプレッサの設置なし			/	—	年度	コンプレッサの設置なし			/	—	年度	コンプレッサの設置なし	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	/	—	年度	コンプレッサの設置なし			/	—	年度	コンプレッサの設置なし			/	—	年度	コンプレッサの設置なし	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度						第二年度						第三年度					
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度				—	/	年度				—	/	年度		
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)	—	/	年度				—	/	年度				—	/	年度		
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)	/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)	/	—	年度				/	—	年度				/	—	年度		



細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1	高効率コジェネ	2015年度	発電出力700kW 温水熱量946.5MJ/h 蒸気熱量982.7MJ/h	排出削減量100t-CO2/年 見込み
2	水冷スクリーチラー	2015年度	冷房能力450USRT COP:5.6	排出削減量291t-CO2/年 見込み
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市西部病院から排出される排出量の一部	58t-CO2	(株)エネット
2	高効率コジェネの利用	2018年度	横浜市西部病院から排出される排出量の一部	113t-CO2	総合エネルギー効率63.9% 省エネ率22.9%
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	横浜市西部病院では、産業廃棄物の排出量を把握し、減量目標を立案し取組みを行っている。
計画期間内に実施する対策	横浜市西部病院では、産業廃棄物の排出量を把握し、減量目標を立案し取組みを行っている。
第一年度実績	廃棄物削減 一般廃棄物：計画298.00t→実績306.01t 産業廃棄物：計画 88.30t→実績 58.66t
第二年度実績	廃棄物削減 一般廃棄物：計画296.00t→実績300.00t 産業廃棄物：計画 76.20t→実績 58.10t ペーパーレス化 資料・社内紙作業（承認手続き等）を電子化し印刷量削減に努める
第三年度実績	廃棄物削減 一般廃棄物：計画296.00t→実績300.00t 産業廃棄物：計画 56.00t→実績 70.00t ペーパーレス化 資料・社内紙作業（承認手続き等）を電子化し印刷量削減に努める

14 実施状況等に対する自己評価

2016年度より更新した熱源設備・CGSについて、稼働実績を踏まえて2017年度はさらに効率的に運用し、さらに、照明・空調の更新を継続的に実施することで、昨年度実績をさらに上回るCO2排出量を削減することができた。